

令和8年3月5日(木) 15:00~17:00  
岐阜市役所 10階 10-2会議室

1. 新任委員の紹介

2. 令和7年度 専門部会(テーマ別分科会) 下半期実績報告について(資料1)

第5回 専門部会(テーマ別分科会)

地域とつながるためにできること~介護保険サービス分野を参考に~

<報告・意見等>

障がい分野における地域との関わりのお少なさという課題に対し、先行する介護保険分野の知見を学ぶ目的で開催された。参加者からは「民生委員等の地域役員と直接対話できたことは有意義だった」との声が上がる一方、自治会加入率の低下など地域における関係性の希薄化により、つながり作りが困難である実状も浮き彫りとなった。しかし、支援者自らが地域へ入り込み、住民一人ひとりが当事者に関心を持ち、多様な視点を認め合える活動を継続していくことが、地域共生社会の実現には不可欠であると再確認された。

第6回 専門部会(テーマ別分科会) 医療的ケア児者への支援について

<報告・意見等>

今回の協議は、医療的ケアの実態を肌で感じるための「自宅訪問」と、それを踏まえた「協議」の二段構えで実施した。文字情報だけでは伝わらない24時間の生活実態や困りごとを直接目にする機会を設けたことで、支援の具体性を高める一歩となった。

現状、専門資格を持つコーディネーターが孤立し、十分に機能しきれていない課題がある。これに対し、県の障害福祉課とも連携し、個人のスキルに頼らずチームで支える体制づくりをグループワークで検討した。今後は、相談支援事業所が当事者やコーディネーターをバックアップできる仕組みを構築し、当事者が安心して地域生活を継続できる実効性のある支援を展開していく。

第7回 専門部会(テーマ別分科会)

災害時の支援について ~ 防災対策と個別避難計画 ~

<報告・意見等>

今年度から相談支援専門員が作成を担うこととなった「個別避難計画」について、実際に作成した経験がある2名の事例発表を実施した。作成過程を通じて、地域からの孤立や家族支援の限界といった、平時には見えにくい深刻な課題が浮き彫りとなった。

発表者が共通して訴えていたのは、計画を単なる「絵に描いた餅」にせず、いかに実効性を持たせるかという視点の重要性である。計画作成の経験のない参加者にとっても、具体的な作成手順や直面する課題を学ぶ貴重な機会となった。

3. 岐阜市基幹相談支援事業の課題と改善点について

- ・岐阜市基幹相談支援事業の課題と改善点について承認を得た。

4. 岐阜市地域生活支援拠点等の運用状況における課題整理について
  - ・岐阜市地域生活支援拠点等の運用状況における課題整理について承認を得た。

<意見>

継続的な課題があるため、少しでも取り掛かれるとよい。
5. 令和8年度 岐阜市障害者総合支援協議会の体制について（資料4-1、4-2、4-3）
  - ・令和8年度 岐阜市障害者総合支援協議会の体制について説明し、承認を得た。
6. 岐阜市基幹相談支援事業 自己評価シート等（案）について
  - ・基幹相談支援事業についての評価シートの改定について説明した。
7. 日中サービス支援型指定共同生活援助事業の定期評価について
  - ・8事業所の日中サービス支援型指定共同生活援助報告・評価シートについて承認を得た。